

# HADOMI no DAME

- LOVE and PEACE - JICA東ティモール青年海外協力隊機関誌 2014

No.2



## もくじ

東ティモール～ワニからできた国！？～	1
HADOMI no DAME に寄せて	2
隊員名鑑	4
JICA事務所 職員のみなさん	6
隊員インタビュー	8
合気道                    原澤 研二	
機械工学                  河西 啓至	
義肢装具士・製作        松野 由恵	
マーケティング            宮永 雄介	
TIIMO ～住まい情報～	16
EAT SPOTS in DILI	18
東ティモール例えてみるとこんな所！	20
突撃インタビュー！！	22
東ティモール文化紹介	24
任期を終えて	26
元協力隊員                鈴木 哲史	
元協力隊員                阿久津 寛美	
元JICA専門家              山内 洋一	
東ティモール人ってどんな人？	32
みんなであそぼう！東ティモールすごろく	34
編集後記	36
フォトギャラリー ～東ティモール百景～	37

表紙                    ディリの笑顔  
もくじ背景              タシトルの市場にて  
裏表紙                  リキサから臨んだ夕焼け

撮影 山田 芽実（協力隊員 職種：写真）

# 東ティモール～ワニからできた国！？～

名前は聞いたことがあっても、どこにあるのかわからないという人も多い(?)、東ティモール。

そんな東ティモールはアフリカにも中南米にもありません。実は東南アジアの東端、インドネシアとオーストラリアの間にあります。日本のほぼ真南にあり時差はありません。

2002年にインドネシアの占領から独立したばかりですが、第二次世界大戦中には日本が占領していたこともあります。

そんな歴史があるにもかかわらず、『それは過去の事で、国と国の話だから今は気にしてないよ』と言ってくれる、とてもおおらかな性格の人が多いのがいいところです。

国民の99%がキリスト教のカトリックを信仰していますが、民間信仰も根強く残っており、お呪い<sup>まじな</sup>で病気治療を行うこともあるそうです。

実は、この国でとても大切にされている生き物がいます。それはなんとワニです！！ティモール島の形がワニに似ていることから、ワニがこの島になったという伝説があるからです。

どんな話かというと…



## 【島になったワニの話】

むか～し、むかし、あるところに一匹の弱ったワニがいました。そんなワニをある少年が助けてあげました。少年とワニはすっかり仲良くなって、ワニはお礼に少年を背中に乗せて世界中を旅することにしました。世界の果て、太陽が昇る東の海まで旅をしたとき、ワニはお腹が空いてたまらなくなってしまうしました。ワニは少年を食べてしまおうと思いましたが、少年は大事な友達。悩んだ末に結局少年を食べることができなかつたワニはそのまま島となり、少年は島で幸せに暮らし始めたとき。

この島が現在のティモール島だと言われています。

というわけで、ワニはとても神聖な生き物です。

ワニに人が食べられたという話を聞くこともありますが、ワニを殺すことはないそうです。

そして、海岸には所どころ『ワニ出没注意！』の看板が立てられていますが、実際にはうじゃうじゃいるわけではありません。ご安心を。

(くろまめ)

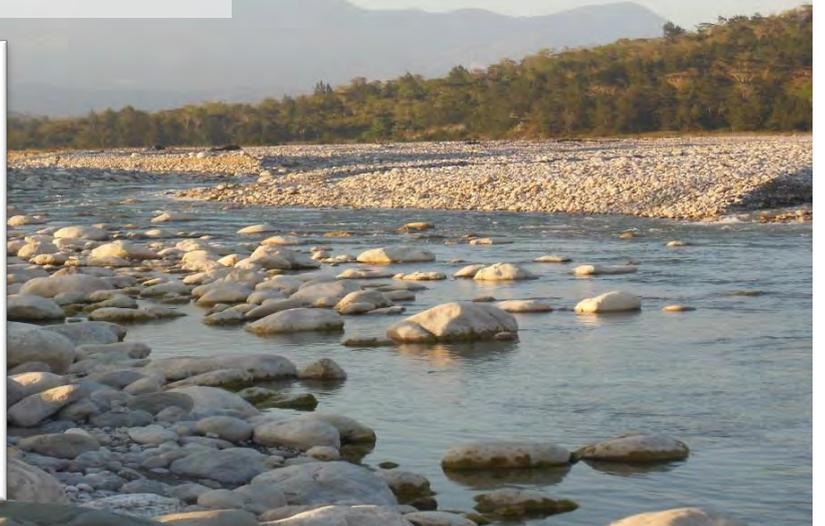
この島はきみで  
できていたんだね！  
君と一緒に旅したこと  
忘れないよ！

たすけてくれて  
ありがとう！



# HADOMI no DAME に寄せて

JICA 東ティモール事務所 <sup>たかた ひろひこ</sup> 高田 裕彦 前所長  
在任期間：2011年4月～2014年3月  
(現：JICA 関西国際センター 次長)



## 東ティモール JOCV\*の発展を願って

みなさん、元気でやっていますか？私の帰国から少し遅れ赴任された平成 25 年度 4 次隊の 9 人のボランティアの方、初めまして。

新しいボランティアの方が加わって派遣中的人数も 20 人を超え、今年度内には 30 人ほどの人数になるのでしょうか。2011 年 6 月に初代長期ボランティアの 3 人が派遣されてきた日が懐かしくもあり、事業として成長している姿が喜ばしくもあります。ただし、私は人数が増えることばかりを成長だと思っているわけでは決してありません。赴任してきたばかりのボランティアが手さぐりで生活環境を整えたり、ときには JICA 事務所側で手配したりしていたところから、現在では先輩ボランティアが新しい人への着任時のサポートをしっかりやってくれています。さらには、仕事の進め方や配属先の上司・同僚との付き合い方についても積極的に助言してくれています。これらは立派な成長でしょう。また、長期ボランティアの派遣が開始し

て 4 年目を迎え、そろそろ JICA 事務所に対しても様々な意見が出てくるとは思いますが、そこは引き続き大人同士の対応をよろしくお願いします。

機関誌の発行も、先に赴任した人から新しい人に情報を伝え、今と一緒に過ごす仲間同士で思いを分かち合う場として始められました。こうしたコミュニケーションの中で東ティモールでの JICA ボランティアの文化が生まれ、成長していくのだと思います。

最後に、人数が多くなるとトラブルも増えがちです。病気や事故には遭わないようにくれぐれも注意してください。無茶をしつつも、大きな病気や事故もなく過ごせた先輩や仲間の武勇伝を信じ、真似をすることのないようにしてください。どこかの誰かが、毎晩酔っぱらって無茶をしつつも楽しいディリ生活を過ごせたのは、みなさんのおかげと、ただ運が良かっただけなのであります。

\*JOCV：青年海外協力隊（Japan Overseas Cooperation Volunteers）

JICA 東ティモール事務所 うかい ひこゆき 鵜飼 彦行 所長  
2014年3月より現職



## これから、海とともに暮らす

在外に勤務するのなら海のある国、できれば島国に赴任したい。JICA に勤めてからずっとそのように思ってきました。

東ティモールは私にとって3カ国目の在外事務所ですが、島国に赴任できたことを心から喜んでいます。最初の在外事務所が英国、そして2回目がカンボジアでしたので、海のある国に赴任したいという願いは3回とも叶ったこととなります。ディリでは毎日海沿いの道を車で通勤しているので、海をととても身近に感じることができます。

ところがこの街に住んで約1ヵ月(注:原稿執筆時)、目の前に広がる海が、どこか銭湯の壁画のように、とても静的に頭の中に入ってきています。この理由の1つは、未だ海で1度も泳いでいないため、身体的に海をとらえることができていないためでしょう。ただ、それだけではないような気がしています。ディリの海は今までのところ波が立つこともほとんどなく、潮騒の音を聞くには足首が濡れる位近くに行かなくてはな

らないほど穏やかなことも理由の1つでしょう。

隊員の活動をする上で、皆さんはこの海とどのように折り合っていくのでしょうか。機関誌 HADOMI no DAME 創刊号を編集後記まで詳読しましたが、「海」をテーマにした記事やコラムは何故もなく、フォトギャラリーに海辺の写真と、そこで楽しそうにくつろぐ隊員の写真が数点掲載されていただけでした。JOCV 機関誌の読者には、全世界で活動する皆さんの同期や先輩達もいます。東ティモールで活動する皆さんは、この海に囲まれた島国という環境の中で、どのように楽しみ、どんな活動をしているのかを、機関誌を通じてアピールして行って欲しいものです。海好きの私は、この海のことをこれからもっと好きになっていきたいと思っているので、HADOMI no DAME でもサバンナや山岳地で活動する他国の隊員達が、この海に思いを馳せるような特集を組んでくれると嬉しいな、と思っています。

(まるまる)

# 隊員名鑑

【平成26年5月1日現在 総員21名】

★平成24年度3次隊～平成25年度3次隊★

【良】ティモールへ来てよかったこと 【驚】びっくりしたこと

はらさわ けんじ  
原澤 研二(24-3) [合気道]  
東ティモール国家警察訓練学校



【良】マロボ温泉に行った夜、  
綺麗な星空を見たこと。

【驚】ティモール人が木や草について詳しくすぎる！！  
漢方のような知識を多くの人を持っている。

かわにし ひろし  
河西 啓至(24-4) [機械工学]  
東ティモール国立大学



【良】いま探しています。

【驚】・・・あったっけ(・\_・)?

あかほし あすか  
赤星 亜朱香(25-1) [栄養士]  
保健省 公衆衛生局



【良】子どもの笑顔がめちゃくちゃかわいい！

【驚】言葉(言語)の多さ。携帯電話の優先順位の  
高さ。あと自分の日焼け具合。

しおた てっぺい  
塩田 哲平(25-1)

[コンピュータ技術]  
工業技術専門学校  
コンピュータ学科



【良】日本に興味を持ってくれる人が増えること。

【驚】街中の時計の時刻がほとんど合っていない(・\_・)

まつの よしえ  
松野 由恵(25-1)  
[義肢装具士・製作]



国立リハビリテーションセンター

【良】時間がのんびりゆっくり経過していて、  
のほほんとできる。

【驚】意外と普通に生活できている自分(´^`)

まるやま けんじ  
丸山 健二(25-1)

[コミュニティ開発]  
NGO パ・フトウル



【良】地方出張でみた満天の星空。

【驚】ピュッフェ形式で食事する際、なんでもう食べ  
ないんだ、おかわりしろよと何度も言われます(´^`)

みやなが ゆうすけ  
宮永 雄介(25-1)  
[マーケティング]

農業水産省  
工芸作物アグリビジネス局



【良】開発途上国と言われる国の現状を知れたこと。  
名酒 TuaSabu との出会い。

【驚】ネット代が高い。高いけど日用品は想像以上  
に揃っている。皆とてもフレンドリー(\*^\_^\*)

ひらやま やすひろ  
平山 泰弘(25-2) [コミュニティ開発]

NGO アヒサウン障がい者協会

【良】色々な人との出会い。

テトゥン語というマイナー言語との  
出会い。

【驚】日頃、ティモール人に冗談をよく言  
われます。疑問に思ってなんで冗談ばかり言うのか  
聞いてみたら、なんと彼らの愛情表現でした(°Д°)



うえむら のりたか  
上村 典孝(25-2)  
[コンピュータ技術]

ディリ国立病院



【良】海辺の景色が綺麗！！

ヤシの実ジュースが飲めた！！(喜)

【驚】軽自動車のマイクロレットに20人も乗車(>\_<)

いとう まゆみ  
伊藤 真由美(25-2) [薬剤師]  
ディリ国立病院

【良】異文化コミュニケーションが  
できた。フレンドリーな人が多い。

【驚】ウミガメの卵が食用として浜辺で売られてい  
る！！



あべ こうたろう  
阿部 幸太郎(25-3)

[PC インストラクター]

聖心ベコラ高等学校

【良】「kolega(友人)」がたくさんできた。

【驚】時々、海外にいることを忘れるくらい自然に暮らせていること。



やまだ めぐみ  
山田 芽実(25-3) [写真]

観光省

芸術・文化・創造的産業局

【良】独立間もない時代を生きる人たちと共に

活動できていること。Max Stahl さんとの出会い。

【驚】若者多い！顔濃い！映画館が地元と同じ規模！



★平成26年3月赴任★

(平成25年度4次隊)

【印】東ティモールへ来た印象 【抱】抱負

うらやま ひであき  
浦山 英明 [作業療法士]

国立リハビリテーションセンター

【印】めっちゃ暑い！！

【抱】東ティモールにいる障がい者の方たちが住みやすい社会を作る！！綺麗な海で泳ぎまくりたい(\*^o^\*)



しらかわ ゆか  
白川 優佳 [PC インストラクター]

国立職業訓練・雇用センター

【印】首都ディリは穴だらけの道で歩くのが怖い。ゴミ放置のせいで街が汚い。

【抱】できることを少しずつ、確実に積み上げます！



てるい なおや  
照井 直也 [自動車整備]

ドン・ボスコ職業訓練校

【印】まず人は誰もが暖かい。食事もとても美味しい。だからこそ、この環境はもったいないですね。

【抱】活動以外でも何かを見つけ、私を知ってもらおう。



たけうち りか  
竹内 梨夏 [観光]

観光省 マーケティング局

【印】テレビで見ていた途上国だ！（他人事みたい）

【抱】国のブランディングとエコツーリズムの推進。観光客受け入れ態勢を着実に整えていきたい。



はやし まゆみ  
林 真友美 [手工芸]

観光省 芸術・文化・創造的産業局

【印】常夏だなー(´д`)

【抱】タイスをもっと魅力的に！！



ながら としき  
長良 敏希 [行政サービス]

公共事業省 財務計画局

【印】日差しが強く、南国に来たなあと感じました。

【抱】まだ来たばかりでわかりませんが、活動によって何かを残せたらと思っています。



まつもと たかし  
松本 隆志 [マーケティング]

商工環境省 商工環境副大臣事務所

【印】とにかく暑い！！雨が凄いい！！

人の笑顔がめちゃくちゃ素敵！！

【抱】できること、役立てることに精一杯力を注ぐ！！



ふじはら ゆうすけ  
藤原 祐輔 [環境教育]

商工環境省 環境局

【印】シャイだが親切で笑顔がステキな人が多い。思っていたより街が汚くて穴だらけ。

【抱】国づくりに自分の専門分野で貢献します！



もんじょう しんいちろう  
門上 晋一郎 [番組制作]

国営テレビ・ラジオ局

【印】思っていたより発展していて物が溢れている。

【抱】テレビ番組を通して「ゴミをどこにでも捨てない運動」みたいなことをしてみたいです(^^) /



# JICA事務所 職員のみなさん

## 事務所のまとめ役!!

事務所員



お名前: 相馬 厚

隊員へ一言: 共感する心、感謝する心を持って活躍されることを期待しています。

## クールな情熱家!!

事務所員



お名前: 鈴木 雅弘

隊員へ一言: 頑張ってください!

## 事務所の ムードメーカー!!

企画調整員



お名前: 大光 英人

隊員へ一言: 日本人と過ごす時間より、この2年間でしかできない現地の人との時間を大切にしてください。

## ちょっとワガママな 頑張り屋!!

National staff

【ボランティア担当】



お名前: Gliana Maria da Silva Cardoso Machado

～グリアナさんから隊員へメッセージ～

Spending two years with the Timorese people will be a special experience for you. As the Timorese people, we do not request too much but contribution of your assistances to our beloved country by sharing your ability and your skill to Timorese people will become unforgettable things to those whom you work with.

And once you return to Japan, you'll share the fruit of the experience during your stay in Timor-Leste with the people in Japan.

For JOCV who are now here, I believe that some of you might be still trying to adapt to the situation, while some of you have done something here as well as learned something that you've never learned before. But, just remember!!! JOCV is a key to the world so come and work together for the brighter future of Timor-Leste.

Arigatou.

## ティモールの お母さん!!

企画調整員

【ボランティア担当】



お名前: 岩崎 弥生(写真右)

お名前: 金城 睦子(写真左)

隊員へ一言:

【岩崎さん】2年間、健全な心と健康な体で元気に過ごしましょう。(本当はもっと言いたいことがあるんだけど...)

【金城さん】またどこかの国でお会い出来ることを祈っています。

いつもお世話になっている National staff を代表して、ボランティア担当のグリアナさんからメッセージをもらいました。

頼れるお姉さん!!

National staff



お名前: Octaviana Sulastris de Carvalho

隊員へ一言: あなた方の経験をティモールに伝えて下さい。お互いに助け合い、それぞれの文化を学び合しましょう。

笑顔が素敵な  
クールビューティー!!

National staff



お名前: Filomena Sarmento Tilman

隊員へ一言: JICA ボランティアの皆さん、そして日本から来た専門家の方々、皆様の働きに本当に感謝しています。

いつも笑顔の  
頼れる兄貴!!

National staff



お名前: Helder Expôsto

隊員へ一言: JOCV の皆さんの仕事は素晴らしいと思います。もっと良くなるともっと素晴らしいですね。

事務所の  
ハニカミ王子☆

National staff



お名前: Lucio da Costa

隊員へ一言: 私達は JICA の皆さんがティモールで働いている事について本当に感謝しています!

事務所を守る警備の皆様!!



Martinho Amaral

Crispin Ximenes

Bhenk Ekspolito

頼れるお兄さん!!

National staff



お名前: Armando Amaral da Cruz

隊員へ一言: 皆さんの仕事はティモールの強い支えです。その支えはこの国を強くし、前進する力になります。

才色兼備のお姉様!!

National staff



お名前: Carolina Borges da Costa

隊員へ一言: あなた方の働きは本当に東ティモールに貢献しています。頑張ってください。

José Alexandre

Samuel da Silva

はらさわ けんじ  
原澤 研二

平成24年度3次隊

職種：合気道

東ティモール国家警察訓練学校配属

5人目の東ティモール長期隊員として2013年1月赴任

合気道に関しては厳しい一面をもつが基本的には気さくな兄貴



## 合気道の心が少しでも残ってくれたら嬉しいです

### 警察訓練学校ってどんなところですか

主に、警察官になる前の訓練生が住み込みでトレーニングする場所です。その他にも既に警察官になった人が短期でトレーニングする場合があります。この前卒業した訓練生は242名。例年10～20人女性が入るのですが、今回は全員男でした。この242人を6つに分けます。警察なのでクラスとは呼ばず小隊と言ひ、小隊3つで中隊、中隊2つ（計6小隊）で大隊と呼んでいます。



訓練生の訓練期間は1年間です。入学後2か月間は基礎訓練を地方で実施します。この期間はフィジカルトレーニングなどが中心で、ひたすら腕立てやランニング。夜中にライフルを持って砂の詰まったリュックを背負って山に登って降りてくるナイトランという訓練もありました。その後、首都のデシリに戻ってからは8か月間の訓練学校生活。この期間は座学が中心で、警察官になるのに必要な一般教養や専門知識を身につけます。それが終わると2か月間フィールドトレーニングがあります。各警察部隊に配属されて、警察の仕事を実際に体験します。訓練がきつくて脱落する人もいます。今回は2名が基礎訓練期間に脱落しました。

合気道は、8か月の訓練学校生活で各小隊30時間、全体で180時間稽古します。彼らにとっての稽古量は全然足りませんが、そこはまあしょうがないですね。彼らには他のカリキュラムがあるので。

担当者が8か月の時間割を無計画に組んでいたせいで、1日6～8時間稽古やったこともありました。その時はさすがに声がかれましたよ。

### 合気道はどうやって教えているんですか

赴任してから実際に訓練生が入学するまで時間があつたので、合気道の教本を公用語のテトゥン語で作りました。テトゥン語の表現についてはカウンターパートに見てもらったりしました。訓練生にも副教材として配つたのですが、実際に彼らがどれくらい活用していたかはわかりません。

稽古は1小隊40人を一斉指導でやるのでかなり人数が多く、手本を見せたところではなかなか理解してもらえません。そこで技の動きを細かく区切って番号をつけて、最初は一緒に動いて見本をみせながら「1」の号令で一つの動作、「2」の号令で次の動作を、という風にやっています。時間はかかりますけどね。日本の警視庁の合気道でもしている指導方法だと聞いています。

赴任当初は量がなかつたので、屋外でやっていました。普段は朝礼などをやる野原で受け身を取り、泥だらけになって稽古をしていましたよ。今はJICAの支援で量が届いたのですが、実は量が来たとき今回の訓練生の稽古は全て終わっていました。卒業式で演武をするために20人の訓練生に追加で稽古をしていたので、彼らだけは量で稽古できました。



## 生徒に対してどういう風に接していますか

ちょー怖い感じで教えてます。

警察なので規律が第一。でも、訓練生はついこの間まで街をふらふらしてた若者です。例えば最初の稽古のとき、『コレガ（友達）！』って言ってきた訓練生がいました。「誰がお前の友達だ！お前は訓練生で俺は教官だ！」と怒鳴り倒して、罰則で腕立てです。

とにかくダメなことをやったらすぐに罰則腕立てです。複数人集中してないようなときや小隊の雰囲気がいマイチ引き締まっていないときは、連帯責任として小隊全員で腕立てです。

こうした厳しい指導は僕だけがやっているわけではなくて、他の教官たちもやっています。むしろ、他の教官たちの方が厳しいです。とにかく、規律とペナルティーの世界です。✓



平日は警察学校で稽古しているの、毎日稽古をしているわけなんですが、疲れは全然感じません。合気道の稽古をするためにここに来ているので、稽古しない方がストレスです。✓

## 自分が稽古するために ここに来ました

それと稽古中に注意するときは日本語です。稽古中に何か危険なシーンがあったときや自分の指示と違うことをやっていたときに、「テトウン語にしなきゃいけない」と思っていると出遅れるからです。怒るときは何故怒っているかよりも、怒っているという事実が伝わる方が大事ですから。もちろん、何がダメだったのかという説明はテトウン語でします。それに本来、武道は見て盗むもの。指導者にいちいち教えてもらうのを待っているのはダメなんです。だから、極論を言えば稽古に言葉は不要なはず、と考えていることも日本語で怒る理由の一つです。実際はそこまで日本的な感覚で稽古に臨んでくれる訓練生はあまりいませんが。

## 活動を通して楽しかったことはありますか

基礎訓練のときはなしですが、一日中稽古があるわけではないので昼間は結構暇なんです。教官の中にもそうやって暇にしている人がいます。そんな教官達に「ココナッツ飲みに行こう」と誘われ、訓練施設の近くの民家にずかずか入って行ったんです。ところが、実際飲んだのはココナッツではなくトゥアサブというヤシ酒。たらふく飲んで、へべれけになって変な踊りを踊ったりして。(笑) そうやって呑むことでかなり打ち解けた間柄になったし、ホントすごく楽しかったですね。

## 配属先以外でも合気道を教えているそうですね

元々この国にあった合気道協会でも稽古しています。来て2か月後位から始めたのでもう1年以上やっています。最初は週末だけだったのですが、今は希望者がいたので週3回稽古があります。日によって参加人数は異なりますが、コンスタントに続けてる人は10人位です。警察学校はあくまでも逮捕術の延長で合気道を捉えています。合気道協会のメンバーは純粋に合気道に興味を持って、好きで稽古を続けてくれているので、稽古も充実してきています。↗

## これからの活動はどういったことをしていきますか

合気道の指導者がいなくなれば、警察学校ではきちんとした合気道が残っていくことは難しいと思います。でも、東ティモール警察の逮捕術の中に、何らかの合気道もどきのものが残ればよいなと思っています。

合気道協会のメンバーは合気道に何かを感じて稽古を続けてくれているので、合気道の技と心の両方を少しでも残せたらいいですね。こちらが将来この国の合気道の中心になっていくはずなので、欲を言えば彼らの運営力や組織力も少しでも高められたらなとは思っています。

そうは言いながらも、僕のやること、出来ることは日々の稽古です。合気道とは実践の道であって、口ばっかでは仕方ないですから。結果として彼らの中に何かが残れば素晴らしいですけど、まず何より僕が稽古をしに来たんですから、特別なことよりも毎日道場に立って「お願いします」と稽古をするだけです。



# 隊員インタビュー



かわにし ひろし  
**河西 啓至**

平成24年度4次隊

職種：機械工学

東ティモール国立大学 工学部機械工学科配属

工学部機械実習指導員として2013年4月赴任

いつも冷静沈着

ストレスをためない為にしていることは甘いものを食べること

## 工作機械実習の質を高めていきたい！

### 授業について教えてください

日本の授業と比べると質は不十分な部分がありますが、学生のやる気はあると思います。ただ、覚えることが苦手なだけかもしれませんが、なかなか覚えてくれません。

授業は実習を担当していて週2回、月曜日と火曜日の終日やっています。但し、補講も行っているので毎日やることもあります。学年によっても違いますが、1クラス30人程度です。授業はテトゥン語で教えています。

実習は、機械の特性、使い方、使うときの注意点を教えています。図面を元に機械を使って加工をします。加工した後、図面とどれくらい違うかを確認して、なぜ違ってしまったかをレポートで提出してもらいます。今はそれぞれ単独で機械を使うだけの実習ですが、今後は何種類か機械を組み合わせた工作ができるようにしていく予定です。

その他、数学も教えていて、実習の前に数学の小テストをするようにしています。なぜかというこの国の人は数学を苦手としている人が多いからです。機械工学は難しい計算を使う場面が多々あります。にもかかわらず、連立方程式や簡単な分数の計算に時間がかかる学生もいるのが現状です。



### 配属先にJICA専門家が2名いらっしゃるようですが、どのように関わっていますか

JICA専門家の支援は、教官の日本への短期留学の斡旋や日本からの専門家の招へいなど、工学部全体の技術向上を図っています。ですから、基本的には活動ではあまり関わることはありません。ただ、時々自分にできることがあれば協力させて頂くことがあります。また、必要な機材があったときに相談にのって頂いたりしています。足りないことを協力しあえる関係であれたらいいなと思っています。

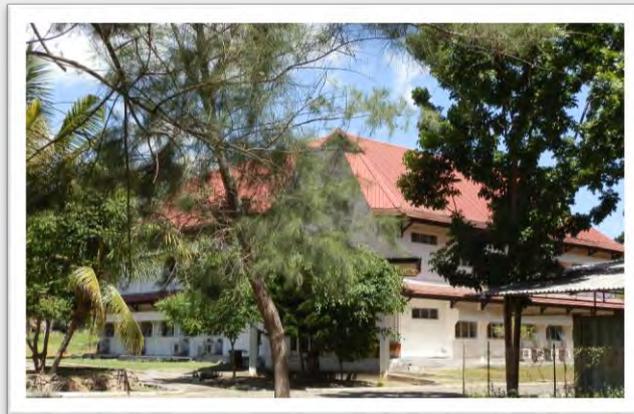
それに、自分の活動について第三者としての意見も聞くことができます。お互いに良い意味で協力し合いながら、配属先をよりよい環境にしていければと思います。

### 1人で倉庫整理をしたと伺ったんですが

倉庫整理は要請内容にもあったことで、材料倉庫にする計画でした。1人ではなく、カウンターパートと一緒にやる予定だったのですが、始めようとしたとき、カウンターパートが他の業務にとられてしまって…。配属1年目中に終わらせたい作業だったので、仕方なく1人で始めました。20年前のものなどが手あたり次第詰め込まれている状態で、相当汚かったです。

整理を始めて1週間、カウンターパートが戻ってきたので2人で作業をすすめていきました。ある程度目途がついたとき、他の先生たちも手伝い始めて、結局約3週間後整理が終わりました。

整理が終るころ、他の先生たちが率先して清掃するようになったので、今は必要以上に倉庫とはかかわらないようにしています。一度きれいにしたものについては継続的にできる人たちなので、今でもきれいに使っています。



## 真剣に接すれば相手も態度を変えてくれます

### 土曜日に日本語クラスを受け持ってるそうですね

赴任当初通ったテトウン語学校の先生が小学校でも教えている方でした。土曜日に小学校のエクストラ授業で日本語でも教えてもらおうと思ったらしく自分に声をかけてきたことがきっかけです。



実際のところは、日本語教室というより、どちらかという和日本文化紹介って感じです。日本の歌を歌ったり、簡単な遊びをしたりすることもあります。難しい文法は教えていません。日本語以外でもこの授業を通じて日本人に対する意識を変えていきたいと考えています。

子どもだから覚えが早いし、下手したら日本の子どもよりも熱心に勉強しています。人にもよりますが1年経つと日常会話位はできるようになります。

最初の頃は授業中におしゃべりして、勝手に興奮して暴れて泣き出す子もいました。怒らないし、週に1回しか来ない日本人だからということで、多分なめられてたんだと思います。今はそんな状況になったら、ちゃんと叱るので暴れる子どもはほとんどいなくなりました。最近は多少騒がしくなっても軽い注意をすれば、話をきちんと聞いてくれるようになりました。

でも、最初はどうしていいかわからなくて、叱れるようになるまで1年かかりました。要は真剣度を示すことが必要だった

んだと思います。自分が真剣だと分かってくれたので、子どもたちも真剣にこたえてくれたのだと…信じたいですね。

### 今後何をやっていく予定ですか

今後は、目的がはっきりした新しい実習プログラムを来年から始めようとしています。今はその試作品を作っていて、更にその修正をしています。実習プログラムについては、自分の任期終了後、残った先生たちで継続して作っていきたくたいです。

それと、対外的なイベントを定期的に行っていきたいです。今考えていることは、日本のロボコンみたいなイベントです。でもそんなハイレベルなことではできないので、簡単に実現可能なところから始めたいと思っています。

まずは、校内で小さなイベントから始めてみて、将来的にはこういったイベントを通じてティモール国内の学校同士の交流が活発になるようにしたいと考えています。



# 隊員インタビュー

まつの よしえ  
松野 由恵

平成 25 年度 1 次隊

職種：義肢装具士・製作

国立リハビリテーションセンター 義肢装具製作部配属

東ティモール初の保健医療系隊員として 2013 年 7 月赴任

いつもほんわかしているムードメーカー



## 今は同僚と肩を並べて作業しています

### 配属先の雰囲気はどうか

このセンターはもともと NGO で、2013 年から 5 年間の移行期間を経て正式に政府管轄の組織になる予定です。この国では一般的に、『NGO で働く人は仕事に対してやる気を持っている人が多い』と言われていて、そのせいかこのスタッフもやりがいを持って働いている人が多く、とても活動しがいのある配属先で、楽しく活動しています。職員は約 40 人。義肢装具製作部は、私を含めて 6 人。カウンターパートにあたる 1 人が海外研修で専門知識を学んできていて、その人を中心に日々製作作業を行っています。

### 今どんな活動をしているんですか

同僚と一緒に、義肢装具を製作しています。

こちらに来たばかりのとき、日本と比べて材料の種類や量が、想像以上に少なく驚きました。しかも、そういった環境の中で製作を続けてきた同僚達は、私よりも工夫して製作できているし、私が勉強させてもらうことの方が多かったと思います。

私の要請内容は、『より良い製作技術の提供』でした。そのために勉強会を開き、知識として日本の技術を伝えることが一番かな、と考えていました。でも実際は、この環境下での彼らなりの製作技術もあり、その中で「私は何を伝えられるだろうか」と悩んだりしました。



でもある日、私が何気なく製作していたら、その作業自体にすごく興味を持ってくれたことがあったんです。その瞬間、「別に気負わなくていいんだ」と、ふっと肩の荷がおりたのを今でも覚えています。製作につまずいたときには、何

かちょっとしたアイデアを出すと、それに応じて同僚もいろいろとアイデアを展開してくれます。私はそういったきっかけを作る活動をしていこうと思ってきました。



今は、一緒にコーヒーを飲んだり、肩を並べて作業をしたりして、それで彼らもいいと思ってきているんじゃないかと思って活動しています。



### 実際の製作の様子を教えてください

以前は紛争で手足を切断した患者さんが多かったみたいですが、今は脳卒中の後遺症や、脳性麻痺による肢体不自由の患者さんがメインです。1 日大体 5～6 人の患者さんが来ます。

患者さんが来たらまず、問題点の把握、部位の状態確認をして、今作っていいのかわかると、何が必要なかを判断します。製作が決定したら、石膏で型をとって、製作に取りかかります。仮の状態まで出来上がった時点で、フィッティングチェック、調整、そして仕上げをして完成です。複数人分を同時進行で製作する

## 「立てる!歩ける!」と笑顔になった瞬間が一番嬉しいです!!

ので、約2週間かかりますかね。一番嬉しいのは、日本で仕事していたときも同じですが、やっぱり歩けなかった患者さんが義足を付けて「立てる!」「歩ける!」って笑顔になった瞬間ですね。

### 日本とティモールで障がい者に対する感覚の違いはありますか

日本は、障がい者も健常者も平等に生きようとうたっているけど、過度に気を使いすぎて、それが逆に特別扱いになっているような気がします。ティモールはいい意味で全然気にしない。

例えば日本だったら、立っている障がい者がいれば席を譲るのが当たり前。でも、ティモールではそれはないし、障がい者もそれを何とも思わない。障がい者だからと言って過剰に反応することはないですね。どっちがいいのか、まだわからないですけど。(笑)



### 日本では考えられない状態の人もありますか

日本では骨折したら、すぐ病院に行って治療するけど、ティモールでは病院にも行けず、そのまま放置してしまうことが多々あります。それによって、変形した状態で骨がくっついてしまった人もいます。そういう患者さんに対する製作は同僚達の方がよく知っているの、そこは素直に勉強させてもらっています。

### 地方出張があると聞きましたか

最近レテフォホという地方に2回行きました。

車で行ったのですが、5人乗りの車に7人乗り、宿に行ったら、女性8人に対してダブルベッド2つ。1つのベッドに4人で寝ることになるので、夜中目が覚めると隣の人の顔が目前にあったり。(笑) 寝返りもできない環境で1週間過ごしました。ベッドも小さくて、小柄なティモール人は足を伸ばして寝れるけど、私は常に膝を曲げてないといけなくて、全然疲れがとれなかったですね。でもそれ以上に、すごく楽しかったです。



1回目の出張は、地方に潜む患者さんを探し出す目的でした。ディリと地方では障がい者に対する考え方も違って、家の中に障がい者を隠しておく風習があります。家の外に出すことを家族が恥ずかしがるので、障がい者がいないか一軒一軒訪問して見て回りました。川の中を渡って行ったりもして、とても良い経験になりましたよ。

子どもの足を鎖でつないでいる家を訪れたときは衝撃でした。家族いわく、そうしていないと勝手にふらふらと出歩き、悪さばかりををすると言んですが、小さいときからそうされていたことで、その子は精神的にもおかしくなっていて…。すごくショックでした。

2回目の出張は、前回の出張で計測したデータを基に、センターで製作した義肢装具を患者さんに提供してきました。村の集会所に患者さんが集まり、実際に装着してもらって、歩行訓練などを行いました。地方の人たちにとっては、初めて見るモノばかりで、興味津々に見つめてくるその視線は、純粋でとてもキラキラしていて、パワーをたくさんもらいましたよ。青空の下、製作作業を行ったのも、ここでしかできないとても貴重な経験でした。

地方出張は、今後センターが最も力を注いでいくプロジェクトなので、私も積極的に参加し、1人でも多くのティモールの人達の笑顔を見ていけたらと思っています。



# 隊員インタビュー



みやなが ゆうすけ  
宮永 雄介

平成 25 年度 1 次隊

職種：マーケティング

農業水産省 工芸作物及びアグリビジネス局 アグリビジネス課配属

東ティモール JOCV 初の後任隊員として 2013 年 7 月赴任

持ち前の積極的な性格で型にはまらない活動を展開中

※前任者 鈴木哲史さんの話は 26-27 ページ参照

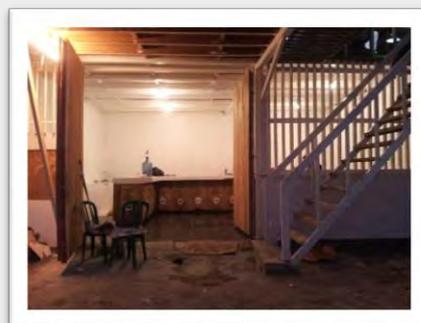
## 自分のすべきことは人と人をつなげることです

### 今どんな活動をしていますか

残念ながらアグリビジネス課は今期予算が非常に限られており、現在のところ、課としての仕事は限定的です。その様な背景もあり、活動に関してはかなり自由にさせて貰っています。職場には週に 1～2 回、情報交換をしに行っています。

活動のメインパートナーは、コルティモールという空港ショップ（前任の鈴木さんの立上げたお店）の運営・東ティモール製品の加工卸をしているローカル企業です。

一緒に何かをしたいとか、情報を共有したいとか思ってくれないでしょう。その為、何か手伝えることがあればどんなことでも手伝わせて貰えないかな～と思って色々足を突っ込ませて貰っています。



もちろん相手にしてくれない方は沢山居ますが、その様なことは日本でも当たり前なので辛いと感じたことはないです。むしろ毎回色々なことを学べるので楽しいです。

### 後任隊員としての活動はどうか

赴任当初、前任の鈴木さんと約 3 か月活動ができたので、かなりスムーズに活動が始められたと思います。

活動内容や人脈を築けたことなども良かったのですが、何よりも前任の鈴木さんのイメージもあり、初めて会った人でも鈴木さんを知っている方であれば、安心して接してくれます。本当にこの点は感謝の一言に尽きます。

自分にとって、後任隊員としてやり辛かったりすることは全



然なく、いいこと尽くしだったと思います。先代が鈴木さんで本当に良かったと思います。協力隊は現在先代と後任の引き継ぎ期間が被ることは稀なようですが、個人的には引き継ぎ期間を設けた方が良いのではないかと感じています。最低限のことを知っていないと配属先にも面



それ以外では、何でも屋みたいなことをしています（肉体労働とか通訳とか交渉とか）。取り敢えず色々なことをしていれば多くの人と出会えて、たくさんの情報を得ることが出来るからです。現状を踏まえると何かプロジェクトをするとしても、予算は限られています。とはいえ政府のプロジェクトに自己資金を注ぎ込むことは考えられず、携わる時間も限られている。また、あまり政府がお金やモノをばらまきすぎるとも良くないと思うので、協力隊員として自分が出来る活動、すべき活動は誰かと誰かをつなぐきっかけをつくることだと捉えています。でもその為には色々な人脈や情報とか相手が面白いと思う手持ちの札がなくてははいけない。そういうものがないと相手としても

倒を掛けてしまうと思われまし、情報を共有した上で違うと思えば少しずつ方向転換すれば良いのかなと思います。

### 東ティモール人と日本人で違いを感じることはありますか

勿論、育ってきた環境が違うので違いは沢山あると思います。そのあたりは日本人の間でも当たり前なので、あまりティモール人だからという考え方はしたくないと思っています。ただ一つ気になることは、政府や援助機関への依存心の強さです。日本でも補助金を使うことは当然考えますが、この国ではその依存度が高過ぎるのかなと思います。その背景には金融システムや公的なソーシャルセキュリティシステムの未発達という

にやっていきたいです。今は商売を通してということを中心に考えています。最初この国に来たときは、将来的には NGO や援助機関で仕事をしたいと考えていましたが、色々見て考えるうちに自分は商売を通してこの国の成長に関わりたいと思うようになりました。多くのパートナーを巻き込んだ長い商売にしたいと考えています。

### 残りの任期、どんなことをしていきたいですか

この国の製品の国内マーケットの拡大だけでなく、海外と戦える土台作りに関わりたいと思います。✓

## 足を突っ込んだ以上ずっと何かを一緒にやりたいです

ものもあると思いますが、政府や援助機関が何かしてくれることを当たり前と捉える傾向も強くあります。そして、自分たちが何も出来ないのは政府や援助機関が何もしてくれないからという意見が非常に多い印象を受けています。これはこの国の将来を考えると怖いことだと思います。支援はいつまで続くか分からない。そして既にグローバル経済に巻き込まれている以上、援助の途切れた後の逃げ場はない。だから、もっと多くの方が商人魂を持つことが必要だと感じています。物質的欲求がないのであればそのまま良いと思います。しかし、若い人を中心にもっとお金が欲しい、好きな物を買ってテレビで放送される海外の様な生活がしたいと考える人、理想と現実のギャップにフラストレーションを感じている人は実際に多いと思いますので…。政府が経済の仕組みを変えると共に個人がマインドを変えることも将来を考えると必要なのかなと思っています。



まだまだこの国の生産者は国内市場を第一に考えていますが、この国はある程度お金を持っている人口も限られており、観光客も少ない。その為、国内向けのみで商売をするとすると、インドネシアや中国の製品よりも販売価格を下げるのが困難である以上、受益者を増やすことは難しいと思います。

その様なことを考えるとやはり輸出を増やすことが必要だと思います。とはいえ、現状中々難しいです。今、日本の企業を中心に複数の企業にコンタクトを取っているのですが、やはり多くの企業は興味をもってはくれるものの、ティモールの製品を取扱うことに対して非常に抵抗があるようです。特に、品質への不安・安定供給への不安は強いです。その辺りを踏まえ、どうしたらティモール産の商品を扱ってくれる企業が増えるかを考えて、生産者と一緒に改善する方向性を見つけていければ良いなと思っています。



### 今後東ティモールに関わりのある仕事に就きたいと伺いましたが

正直に言えば、東ティモールが世界で一番好きというわけではないです。(笑) 実際に住むのであれば、日本の方が断然住みやすいと思います。

ただ、この国には将来的な可能性があると思いますし、この国に足を突っ込んだ以上、何か一緒に



(くろまめ)

# TIIMO

ティモ

東ティモールの首都ディリ

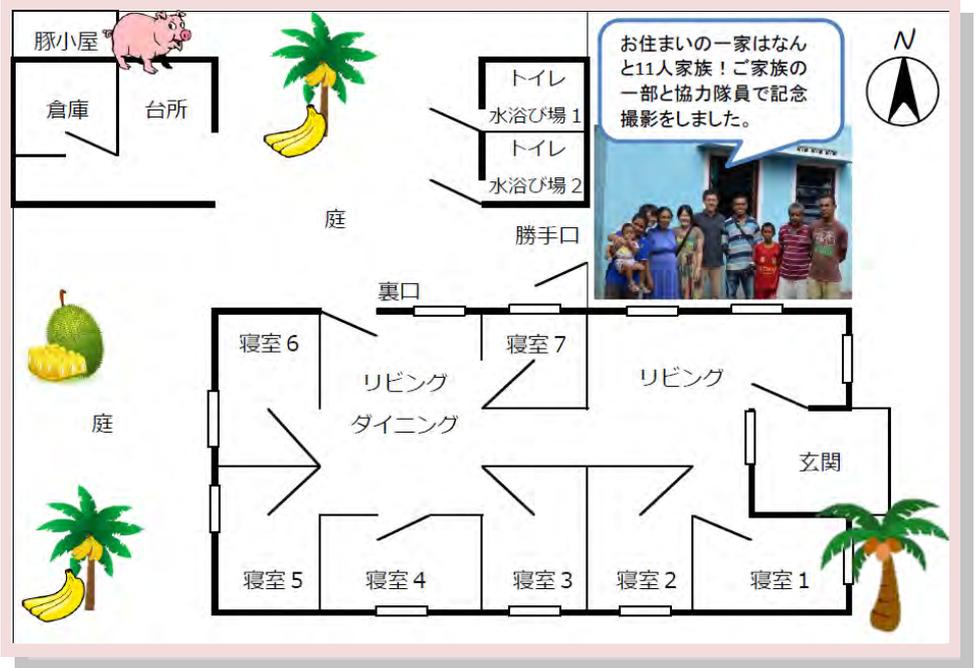
## 住まい情報



**大家族向け 部屋数7つの庭付き平屋建て!!** (塩田隊員がホームステイ中)



大家族の東ティモール人が住む広々とした一軒家。水道も通っているので水汲みの心配はありません。庭にはバナナ、パパイヤ、ヤシの木などがあるので家計も大助かり!!ただし、ガス設備やコンロはないので、調理は薪を使用します。



水道

電気

ガス

インターネット

エアコン  
(一部の部屋のみ)

お湯シャワー

洋式トイレ

蚊帳

バナナの木

家畜の飼育



【寝室1】東側の窓からは朝方に爽やかな光が差し込みます。エアコン完備、ベッドは蚊帳付きで夜も快適です。



【トイレ・水浴び場】トイレは東ティモール仕様。大きなタンクに水をたっぷり貯めておけるので断水時も安心して水浴びできます。

### インフラ情報

- ◇ 停電頻度 1ヶ月に4回程度 (平均2時間)
- ◇ 断水頻度 不定期 主に夜間から朝方にかけて発生 (停電時も断水)

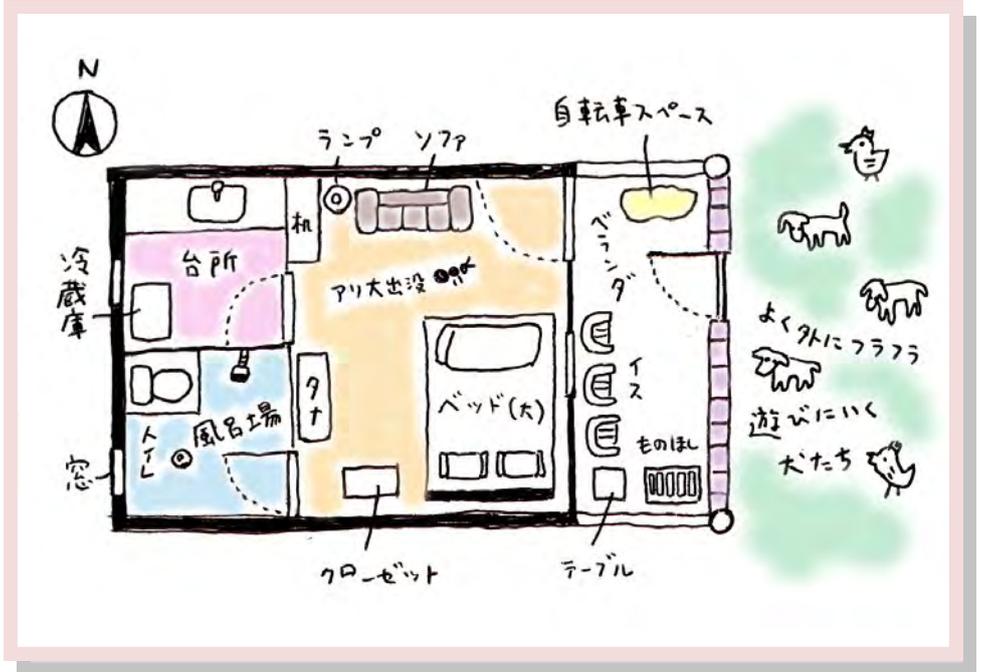


東ティモール人はどんな家に住んでいるんだろう？東ティモールで活動している協力隊隊員が住んでいる家を見たい！そんな疑問・ご要望にお応えし首都ティリの住まい情報をご紹介します。どの家も東ティモールならではの魅力がたっぷりです。  
(TP)

## 東ティモールに住む外国人向け ベランダ付の長屋 (山田隊員が居住中)



ベランダ付きの長屋。庭には犬や鶏がうろうろしています。スーパーやパン屋さん、乗り合いバスの乗り場へのアクセスが大変良く、夜中は静かです。休日などは斜向いの小学校でしばしば結婚式が催され、ぱっと華やきます。



水道

電気

ガス

インターネット

エアコン

お湯シャワー

洋式トイレ

ベランダ

夜も鳴く鶏

飼い犬



【寝室】黄色い壁が可愛い。大きなベッドで好きなだけごろごろできます。寝具・カーテンは大家さんの好みです。



【台所】タイル張りの台所。電子レンジ・冷蔵庫・食器置きが完備されているので、自炊したい方におすすめです。

### インフラ情報

- ◇ 停電頻度 1ヶ月に3回程度 (平均1時間)
- ◇ 断水頻度 不定期 (停電が長引くと水も出なくなる)

# 協力隊 12人 (24-3~25-3) に聞きました!

## EAT SPOTS

常夏の国、東ティモールで生き抜くための必須アイテムは「体力」。  
言葉も文化も習慣も異なる国での生活で溜まりまくるのは「ストレス」。  
体力作りにもストレス解消にも欠かせないのは『**食べる**こと』でしょ!  
ということで、協力隊の皆さんにおススメの食べ物屋さんを聞いてみました。  
**美味しいものを食べれば、心も体も癒される〜♪**はず。

注) 掲載情報は2014年7月末現在のものです。(かあさん)



 レストラン系

 ワルン (地元食堂) 系

 ファストフード系

 カフェ系

**1** Restaurante Makau  
ご飯 (赤いお米) がおいしく、  
おかずが豊富。



**Restaurante Makau**

**2** Mazzarello bakery, café  
パンやケーキ、シュークリーム  
など安くておいしい。



**Mazzarello bakery, café**

**3** Food L Do : イタリアン  
おすすめはピザ。生地のおに  
ソーセージも入れられる。



**Mazzarello bakery, café**

**4** Willie Bee  
**15** Willie Bee Branch  
料理だけでなくデザートも美味しく、  
値段も手ごろ。



**Willie Bee**

**5** Puti Bungsu  
ヤギ肉のサテ (串焼き) が美  
味しい。

**6** Nari's No.1 : 韓国料理  
本格的な韓国料理が食べられる。  
ちょっと特別なときにも。

**7** Hotel royal beach : インド料理  
予算は約\$10。インド人オーナーによる本格的なインド料理  
が堪能できる。

**8** Café Letefoho : カフェ・軽食  
レテフォホ郡の豆を店内で焙煎・抽出する  
コーヒーの味は文句なし!

**Cafe Letefoho**

**9** Dili Beach Restaurant : イタリアン  
W杯のときは、スポーツバーに!

**10** Thai Herb Restaurant : タイ料理  
二番目に美味しい。(K氏)

**11** Queen Tundree Restaurant : カレー  
パキスタン風の本格的なカレー。釜焼きの「ナン」も美味。

**12** Brother Burger  
ファストフードはここで決まり。

**13** ABC Indonesian Food  
チキンを甘ダレで煮込んだ料理が  
とても美味しい。

**ABC Indonesian Food**

**14** R n R café  
カフェ類だけでなく軽食やデザート系も  
美味しい。

**16** Peace Coffee  
コーヒーやフレッシュジュースが安くて  
美味しい。

**17** Accait Rest & Bakery  
: インドネシア料理他  
ご飯もおかずも種類が豊富なので、  
いつも注文しすぎて反省...

**Accait Rest & Bakery**

**18** JESSAMINE  
数あるワルンの中でも美味しい部類に入る。

**19** DEPOT MIE BAKSO  
安い。お店の人が優しい・笑顔で嬉しい。

**20** BAKSO KOTA : インドネシア料理  
バクソ (肉団子スープ) 専門店、スープがとても美味しい。  
肉団子以外の具材も自分で選べて魅力的!

**21** Padaria Brasáo  
 雰囲気が好き。パンが出来立て?でおいしい!

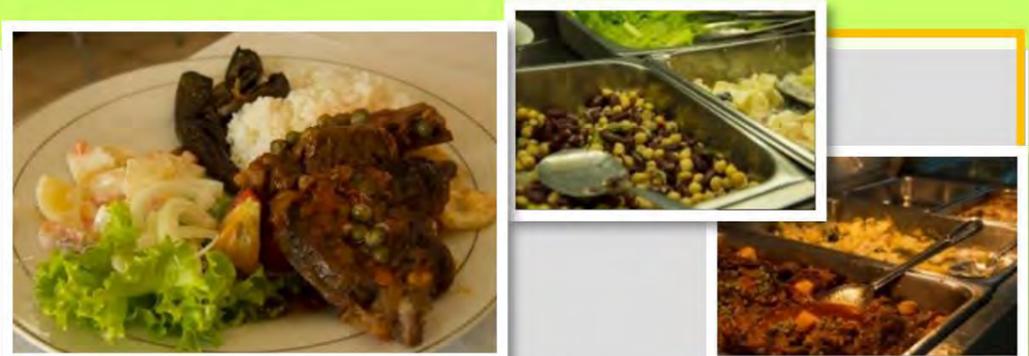
**23** WARUNG MAKAN INDOLA  
 ナシゴレンが美味しい。とにかく安い。

**24** Restaurante Audian Furak : 麺料理  
 通称麺屋。麺が美味しい。

**27** Doce e Salgados  
 安い。ケーキ屋さんに来た気分になる。

**28** Noodles & Dumpling Restaurant  
 : 麺料理中心  
 三番目に美味しい。(K氏)

**30** RESTAURANTE MANTAP...!!  
 メニューに茄子のココナツミルク煮がある日は、心の中で「当たり!!!」と叫ぶ。



**人気No.2**

がっつり食べたいときはココ!  
**22** CITY CAFÉ  
 (西欧・中華料理中心のビュッフェ)

一皿\$7.5で料理盛り放題。こってり、がっつり食べたいときにおすすめ (S氏)  
 夜のビュッフェも\$7.5。サラダ、米、パスタ、肉料理、デザートとひと通り揃っていて、味も中々。おススメはラザニア。お腹が減った時には最適のレストラン! (M氏)



Free Wi-Fiは隊員の強い味方  
**25** EASTERN BURGER  
 (ファストフード、中華料理)

フリーWi-Fiが使用できる。(U氏)  
 Wi-Fiが使えること。たまに贅沢して、しっかり中華料理を食べたいときに、安定して食べられるので。(A氏)



**人気No.2**



**人気No.1は同点首位のこの2軒!**

ビュッフェスタイルで楽しく選べる!

**26** New Lilis  
 (インドネシア料理)

メニューが豊富でおかずをたくさん選べる。おかずの選び方次第で安い! たまにハズレもあるが、その博打感も含めて行くのが楽しみな店。(S氏)  
 食べ物が安くて充実している。(U氏)  
 美味しい。(K氏)



オーナーのキャラも人気の秘密!  
**29** RESTAURANT BIDAU  
 (タイ・台湾料理)

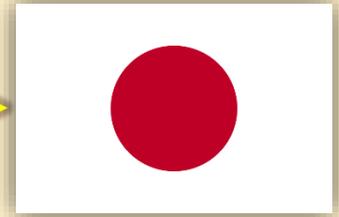
隊員でも行ける値段で美味しい中華&タイ料理が食べられる! 店主のおじちゃんとマブです。(H氏)  
 店主が親日家(?)で、日本語を少し知っている。本格的なタイ&台湾料理が食べられる。月亮蝦餅とビールのコンビは最高! (Mさん)  
 何を頼んでも外れはないけど、トムヤン魚スープとパパイヤサラダは格別! (Iさん)





# 東ティモール

## 例えてみるとこんな所!



読者の皆様、東ティモールへようこそ!!日本ではあまり馴染みのないティモール。これは、そんなティモールを身近に感じていただくために、首都ティリの名所を日本の首都である東京の名所に例えてみたらどうなる?という恐ろしくも挑発的な発想から生まれた、なんともおこがましい企画です。賛否の声は気にせず、私隊員Hが体を張ってお伝えします。それでは、さっそくいってみましょう♪

### 1、ティモールの秋葉原といえば… “コルメラ”



まずは、隊員の間でティモールの秋葉原と呼ばれているコルメラ (Colmera)。ここはティモール国内最大の電化製品街です。ここではテレビ、パソコン、冷蔵庫、ありとあらゆる(?)電化製品をゲットすることができるのです。まさに電化製品のメッカなのです。多くの隊員も赴任直後に家電を揃える時などはコルメラで買い物をします。しかし、残念ながら日本の秋葉原を象徴するようなオタクはコルメラでは見られない…と思いきやオタクイタ——(・v・)——!!!!何やら念入りにパソコンを選んでいるようです。話を伺ってみると、「ぐへへー、掘り出し物もいっぱいだし、値切れるからコルメラ最高だぜっ!」とのこと。と言ってもこれ私なんですけどね。



#### コルメラでのイケてる!? テトゥン語講座:

なんと言ってもコルメラは掘り出し物の宝庫。家電マニアでも驚くような掘り出し物もチラホラ。お宝を見つけたり、自分が気に入ったものを見つけたときなどには “*ida nee jeitu loos.*” 「これいいねー。」と一言ボソッと試してみましよう。

### 2、ティモールの六本木ヒルズといえば… “ティモールプラザ”



でした! 超大型複合ショッピングセンター、ティモールプラザ (Timor Plaza)!!協力隊の中には「ティモプラ」なんて小洒落た愛称で呼ぶ人(え?私だけ?)もいます。この呼び方をマスターしたら、六本木ヒルズを“ヒルズ”と呼ぶくらいの通ですね。ヒルズ族ならぬプラザ族はいませんが、上階には高級ホテルがあり、このように写真を撮ることさえ制止する屈強なガードマンが警備にあたっています。その他にも、映画館やカフェなどティモール人の憩いの場となっています。先ほど見かけたガードマンも二枚目の写真の様に優雅にティータイムを楽しんでいますね。と言ってもこれ私なんですけどね。



#### ティモールプラザでのイケてる!? テトゥン語講座:

ティモールプラザはティモールで一番お洒落な場所です。コーヒー1杯注文するときも小粋でなければいけません! 一番の決め顔と決め声で “*Hau hakarak lori Cafe Timor no ō ba Japgun.*” 「ティモールコーヒーと君を日本へ持ち帰りて。」と優しくささやくように注文してみましよう。

### 3、ティモールのアメ横といえば… “ハリラン市場”



例えてみよう企画も終盤へと差し込みそろそろネタがなくなってきたのではないのかと思っているその貴方!!ティモールにはまだまだ名所があります。そう、ここを忘れてはいけません。ティモールのアメ横ことハリラン市場 (Merkadu Hali Laran)。ここはティモール最大の市場で、精肉や野菜などの生鮮食品や古着や靴などの衣類が所狭しと並んでいます。そして、何といたっても見所は市場の門前で売られている豚!!子豚一頭で約\$ 35とお得な値段設定です。「ワシが育てた豚は丸々肥えて美味しいぞ～」と言わんばかりのドヤ顔のオジサンも見ものです。と言ってもこれも私なんですけどね…。

※2014年7月にハリラン市場は別の場所へと移転しました。



ハリラン市場でのイケてる!? テトゥン語講座：

ティモールでの買い物のポイントは“値切ること”です。一銭もまける気はない! というような雰囲気醸し出したお店の人にも果敢に攻め、打ち解けることでティモールでの買い物の醍醐味が味わえます。ですから、お買い物の際は、“*Ita boot bele hatuun, tanba ita boot bonito/bonita loos*”  
「あなたはカッコイイ/カワイイからきつとまけてくれるよね。」なんて一言添えてコミュニケーションをとってみましょう。

### 4、ティモールのお台場といえば… “レシデレ公園”



さて、遂にこの企画も残すところ最後の紹介となりました。その最後を飾るべく満を持して登場するのは、そう!ティモールでもっとも熱いデートスポット、ティモールのお台場ことレシデレ公園 (Largo de Lecidere) です!!!!このレシデレ公園では等間隔にベンチが置いてあり、ヤシの実売りなどの出店があるのでティモール人カップルにとってはかっこうのデートスポットです。某テレビ局はありませんが、対岸に望むアタウロ島の景色はとても素晴らしいです。愛を語らうカップル達を見かけると、日本もティモールも変わらないものがあるのだなとしみじみ感じます…。おっと、ここにも一組のカップルが愛を語っていますね。ディリは今日も愛に満ち溢れています。と言ってもこれ… (以下略)



レシデレ公園でのイケてる!? テトゥン語講座：

レシデレ公園では沢山のティモール美人を見かけることができます。しかし、ティモール人は恥ずかしがりやが多いです。あなたから飛び切りの笑顔で、“*Beik saa!*”「君とっても素敵だよ。」と声をかけてみましょう。

いかがでしたでしょうか。ディリの名所を東京の名所に例えることで分かり易く読んでいただけたでしょうか。え?私が出過ぎている…。いやいや、これは写真を撮られることが大好きなティモール人らしさを表現しているのであって、決して出たがりではございません。とまあ、細かい所を気にしないのもティモールスタイルです。これを機に読者の皆様にティモールを近くに感じていただけたのなら幸いです。 (チョモランマ)

# 突撃インタビュー！！

高校生とコモロ村の村長さんのお二人に学校や仕事、将来の夢などについて伺ってみました！

フィデリア ヴィアナ

Fidelia Viana さん (18歳) ニックネーム：Deffy

ニコラウ・ロバート高校 3年生



## デフィさんの1日

6:30 起床

朝食準備

7:00 朝食

8:00 授業開始

13:00 授業終了

帰宅後

昼食・お昼寝など

17:00 夕食準備

シャワー

20:00 夕食

21:00 勉強

23:00 就寝

### -お住まいはどちらですか？

タシトルの、ニコラウ・ロバート高校の裏にある叔父の家に下宿しています。実家はボボナロ県のマリアナですが、ディリの高校に通うために2011年12月に出てきました。地方出身の生徒はわりとたくさんいて、私のように親戚の家に下宿している人もいれば、両親から仕送りをもらって1人で生活している人もいます。

### -学校の様子を教えてください

学校の授業は、月曜から土曜の午前8時から午後1時までです。コースは文系と理系に分かれていて、私は理系コースに所属しています。それぞれのコースにクラスが2つずつあり、1クラスの生徒数は50人から60人ほどです。教室が狭くて人が密集していて、冷房設備などはもちろんないので、晴れた日はすごく暑いんです！

### -学校ではどのようなことを勉強していますか？

授業は、テトゥン語、ポルトガル語、英語、インドネシア語といった語学などの共通科目と、生物や化学、物理、数学などの専門科目があります。例えば、今日の化学の授業では、どのような化学物質が薬としての効用を持ち、どのような化学物質が人体に悪影響を及ぼすのかについて学びました。授業では、講義だけでなく実験もよく行われるんですよ。

### -休日は何をしていますか？

試験後の長期の休みのときには実家に帰りますが、普段の休日は叔父家族の子どもたちのお世話や家事などを行っています。叔父が厳しくてあまり遠くには外出できないんです…。外出するのは近所のお店に買い物に行くときか、家族と家の周りを散歩するときぐらいですね。

### -将来の夢は何ですか？

高校卒業後は、大学で医学を学びたいです。そして、将来は医者になって、家族やコミュニティの人が病気になったときに、私が治療をして彼らの役に立ちたいです。また、周りの人たちだけでなく、病気で苦しんでいるティモールの人々を1人でも多く減らしていきたいと思っています。



コモロ村 村長



**-東ティモールの行政区画について教えてください**

東ティモールは13のディストリクト（県）から構成され、その下にサブ・ディストリクト（郡）、スコ（村）、アルディア（地区）が順に置かれています。例えばここは、ティリ県のドム・アレイショ郡の中のコモロ村です。

**-村長という役職について教えてください**

まず、村長は村民による選挙で選ばれます。私は2004年に初めて選ばれ、2009年に再選して現在に至ります。次の選挙は来年2015年です。

村長の仕事は、一言でいえば村の中における事柄すべてです。例えば、教育や経済の改善、道路や学校などのインフラ整備、障がい者・孤児に対する支援などがあります。政府や県に申請するものについても、すべて私を通して行われます。また、家庭内・隣人トラブルの際には、私が調停人となって解決にあたります。村長は住民から信頼・尊敬されているので、私の言うことはみんなよく聞いてくれます。そして、こうした事件が起きたときだけでなく、結婚式や人が亡くなった際には、早朝や深夜、休日であろうと出ていきますので、本当に忙しいです。

その他には、月に1度村議会（<sup>スコ コンセリユ</sup> Suco Konselyu）を開催し、各地区の活動や抱えている問題について情報共有をするとともに、問題解決に向けての協議をしています。

**-東ティモール人の生活において、地域コミュニティはどのような役割を果たしていますか？**

地域コミュニティは東ティモール人の生活に密接に関わっており、人々の生活向上において非常に大きな役割を果たしています。例えば、お葬式や結婚式などの際には、コミュニティの人々による協力が欠かせません。また、家がない、学校へ行けない、仕事がないといった問題には、コミュニティ内で助け合うだけでは根本的な解決にはつながりません。そこで、地域コミュニティが主体となって、政府や、日本を含めた海外からの支援者と協力して取り組んでいます。

**-エウリコさん自身や東ティモールの今後に対する想いについて聞かせてください**

私自身は、次の世代の人たちに自分たちがこれまでやってきたことを伝えていき、コモロ村のさらなる発展に貢献していきたいと考えています。

また、東ティモール全体の発展のためには、人々と政府は一丸となって取り組んでいかなければいけないでしょう。私は、一人ひとりの生活向上こそが国全体の発展に繋がると考えています。しかし現在は、一部の政府関係者は人々のためでなく、自分の懐を潤すことばかり考えています。一方で、民衆の多くは政府が何をしているのかわかりません。そこで、政府は人々の成長・発展に責任を持って取り組み、人々は積極的に政治参加をしていくべきです。こうした民主主義プロセスがこれから少しずつ浸透していくことを願っています。（まるまる）



コモロ村役場

**エウリコさんの1日**

6:30	起床・コーヒー (朝食は食べない)
7:30	仕事開始
12:00	昼食
13:00	仕事再開
19:00	仕事終了・帰宅 シャワー・夕食 ニュースチェック
21:00	就寝

# 東ティモール文化紹介



青年海外協力隊の醍醐味の一つは“任国の住民目線で生活すること”です。日本と東ティモール両方の視点をもつ隊員が、普段東ティモールで生活する中で見て感じた東ティモールの文化を日本の文化と比較して紹介したいと思います。今回は「結婚式」と「教育事情」に焦点を当て、2人の隊員からコメントを寄せてもらいました。

## 結婚式

(丸山健二隊員 平成25年度1次隊)

これまでに、私は配属先の同僚に招待されて何度か結婚式に出席しました。東ティモールの結婚式でも、日本と同様にまず挙式が行われ、その後パーティーが開かれます。東ティモール人のほとんどがカトリック教徒ですので、挙式は教会で行われ、式次第は聖歌や聖書朗読、結婚証書への署名など、カトリックのそれに則ったものです。

1時間半ほどの式でしたが、非常に厳かな印象を受けました。挙式の後のパーティーは多くの場合夜から開かれますが、日本と違って必ずしも招待状があるわけではありません。家族、親戚、地域の人、同僚、その友達、そのまた友達...結局、全く見知らぬ人が来ることもあり、一般的には数百人、多い時には千人以上集まることもあります。パーティーでは、食事の後に、ライブ音楽に合わせて明け方までダンスが続けられます。ダンスのパートナーは特に決まっておらず、男性が周りの女性を誘うというのが決まりです。



招待状がない結婚式というのは斬新ですね。(笑) 地域住民総出で盛り上げる結婚式というのも素敵です。東ティモールの人と人との距離が近くてフレンドリーな一面が伺えます。因みに、東ティモールではダンスが上手いと男女共にモテるところも特徴的です。丸山さん、ありがとうございました。

## 教育事情

(阿部幸太郎隊員 平成 25 年度 3 次隊)

東ティモールの学校教育も基本的には日本と同じ小学校 6 年、中学校 3 年、高校 3 年です。その中で私が感じた違いを少しだけご紹介します。

私の配属先は幼稚園から高校までの一貫校で、私は高校の教員として活動しています。日本の教育事情との最大の違いは言語教育です。公用語であるポルトガル語とテトゥン語、それに実用語としてのインドネシア語と英語が混在しています。私の学校の場合、小学校ではポルトガル語とテトゥン語、中学校で英語が、高校でインドネシア語も加わり、4ヶ国語を学んでいます。授業時間は 1 コマ 45 分なのですが、同じ科目が 2～3 コマ連続しており、日本のように毎時間ごと科目が変わるというわけではありません。

また、学校の設備は日本のように十分ではなく、教室とグラウンドだけの学校が一般的です。体育館や音楽室や理科実験室といった設備はありません。しかし、生徒は大学進学や将来の職業選択のために一生懸命勉強しており、目標を持った子ども達が輝いているのは日本と何ら変わりがないか、それ以上にも思えます。



東ティモールの言語事情は私たち隊員が活動する上でもとても複雑だと思っていることです。しかし、こうした環境でも一生懸命勉強に励んでいる子ども達の向学心は素晴らしいですね。そして、国や環境に関わらず未来ある子ども達の芽を育てるのが教育の力なのだと思います。

阿部さん、ありがとうございました。

文化はその土地で生活する人々の生き方を表します。結婚と教育、同じアジア圏の日本と東ティモールだからか共通する部分もあり、一方で全く違う部分もあります。そんな共通点と違いから東ティモールの文化を理解し、興味を持っていただけたら幸いです。そして、何よりもこの国の人々の魅力である陽気さやひた向きさも感じていただけたらと思います。

(チョモランマ)

東ティモールに青年海外協力隊の派遣が始まって4年。昨年、無事に任期を終えて帰国された初代長期隊員を含め、東ティモールでの JICA の活動のパイオニアとも言える方々に当時の思い出や、今、東ティモールに思うことなどを寄せていただきました。 (かあさん)

任期を終えて Vol.1

## 多くの方々の協力で作られた Husi ne'ebe? (一村一品事業)

すずき なたし  
鈴木 哲史 さん

青年海外協力隊 (平成 23 年度 1 次隊)

派遣期間: 2011 年 6 月 ~ 2013 年 9 月

職 種: 村落開発普及員

配 属 先: 農業水産省工芸作物・アグリビジネス局

\* 後任の宮永隊員の活動の様子は P14-15 に掲載されています。



ティモールに初めて降り立ったときからもう3年が経とうとしています。ついこの間のようにも感じますし、ずいぶん昔のようにも感じます。

今でもティモールのことは後任の宮永隊員から情報を頂くのですが、自分が携わった空港ショップ「Husi ne'ebe?」(テトゥン語で「どこから?」)が継続して運営され、母体である Kor Timor の一村一品事業の商品がスーパーで売り上げを順調に伸ばしている、という話を聞くと本当にうれしくなります。なぜなら「現地の方々が援助なしで自分達のビジネスを継続させる」という状態が私の活動の目標だったからです。



生産者グループへの  
ヒアリング調査



ココナッツオイル生産者の様子  
ココナッツオイル絞ってます♪

ただ、これは言うのは簡単ですが、インフラやパッケージ、プロモーションなどの問題で、地方の住民の方々だけで実現できることではないのも事実でした。政府の立場で、生産者、卸業者、小売業者全てが儲かりつつ、お客さんにも喜んでもらう仕組みを作らなければならない。それを小規模ながらも一気に解決しようと挑戦した一村一品プロジェクト (Husi ne'ebe?) でしたが、欲張り過ぎたためにあらゆる方面から力をお借りする必要がありました。



### 空港ショップ開店直前！

ショップスタッフに商品の  
ブリーフィング。

何とかお店の開業と流通の仕組み作りが実現出来たのは、多くの方々の協力があったからだと思います。高品質な商品を、納期を守って生産してくれた村の生産者の方々。プロジェクトのコンセプトを素晴らしいロゴデザインに仕上げてくれた同期の矢加部隊員。絶大なるプロモーション効果をもたらしたビデオと写真を手掛けてくれた UNDP の石田さん。幾度となく夜中までプロジェクト書類の作成をお手伝いいただいた大光企画調整員。政府との調整方法などについて数々のアドバイスをくれた UNDP の横山さん。素晴らしいプロモーション

の機会を頂いた JICA と日本大使館のみなさん。生産者サイドで調整を手伝ってくれた NGO のの方々。非常に高いビジネスマインドを持った <sup>コル</sup> <sup>ティモール</sup> Kor Timor の代表であるサビオとそのスタッフ。そして、毎日怒りまくっている私をいつも許してくれ、仕事を手伝ってくれた職場の同僚達。書き出したらきりが無いほど多くの方々の力によってこのプロジェクトは実現しました。さらに、私とはまた違った魅力と能力を持った後任の宮永隊員が発展させてくれている。これほど嬉しいことはありません。

ティモールで感じたことと同じことを今の仕事の間である中国(原稿執筆時)でも感じています、『良い仕事をしたい、意義のある仕事をしたい』という意欲に国籍は関係ないと思います。何が問題なのか、何が求められているのかをとことんまで突き詰めて仕事をしていると、どこからか手を差し伸べてくれる人が現れるのだと思います。現在活動中のみなさんも様々な困難や問題に突き当たるでしょうが、それを信じて突き進んでください。



### 空港ショップの オープニングセレモニー

花田駐東ティモール大使と  
マルコス農業副大臣も  
出席してくださいました。



2014年、日本の友達から依頼され作成した結婚式の引き出物。無事ティモールから50箱届けられました。(プロデュースは宮永隊員)

## 次の目標は、踊れる看護師！



あ く つ ひ ろ み  
阿久津 寛美 さん

青年海外協力隊（平成 23 年度 2 次隊）

派遣期間：2011 年 9 月～2013 年 9 月

職 種：青少年活動

配 属 先：NGO Ba Futuru パ フ ト ッ ル

### \* 配属先ではどのような活動をされていたのですか？

おもに、演劇を通じた青少年への情操教育を行っていました。他にもクラフトや日本語、それに私の専門であるダンスなどを教えることもありましたね。

### \* 活動や生活で大変だと感じたことや苦労されたことは？

活動においては、生徒たちが家族行事や宗教行事が多く安定して出席できなかったことです。でもこれは、回数を重ね話をしていくことで、最終的には改善されました。



### 舞台での公演風景

アイハン コル リマ  
栄養指導セミナー“aihan kor lima(5色の食べ物)”の様子。観客に分かりやすく説明するために、首から色付きの画用紙を下げています。



### Ba Futuru での授業の様子

ドラマの脚本作りに挑戦中の生徒たち。

知り合いや同僚に関しては、私の持ち物やお土産をおねだりされたこと。今となっては、たいしたことではなく、むしろかわいいとさえ感じるようになりました。

生活においては、ダンスや運動をするチャンスが少なかったことです。土曜日にバドミントン、日曜日には原澤隊員の一般向け合気道クラスに行っていましたが、毎週行けるわけではないし…恥ずかしい話ですが、気を抜くとどんどん太っていく傾向にありました。

### \* では、反対に嬉しかったことや楽しかったことは？

同僚に『あなたなしに演劇の成功はなかった』と言われたことですね。

演劇終了後、拍手をもらえるのはアクターばかりで、私が脚光を浴びることはなく…下準備に疲れていたときに言われたこの一言で報われました。

**\* 東ティモールで印象に残っていることは何かありますか？**

道ばたやマイクロレット（乗り合いバス）車内を問わず、お母さんが赤ちゃんに母乳をあげていたこと。びっくりしたけど、和みました。（笑）

**\* ところで、現在は何をされているのですか？**

看護師の資格を取得しようと思い、2014年4月から看護学校で学んでいます。2013年9月末に帰国して、すぐに受験対策の予備校に通い、大学受験レベルの英数国の復習の毎日。久しぶりの勉強はなかなか面白かったです。



**クラフト中の子どもたち**

ハロウィーンにはお菓子のぬり絵。

**\* もしよろしければ、進学を決意された経緯を教えてください。**

協力隊以前に病院で仕事をする機会がありました。振り返れば、その時から漠然とした看護師へのあこがれはあったのかもしれませんが。

2年の活動の中で、ティモールの医療の現状を知る機会が多くあったのですが、国立病院で見た使われていない各国からの援助物資の山や、伝統医療にたよる治療方法など、理解しがたいものもあって…それと同時に誰かの手が入ればずっとよくなるのと思うこともたくさんあり、看護師になることを決意しました。

**\* 日本から遠く離れた地での受験準備は大変だったのでは？**

帰国半年前、インターネットを使った学校情報や受験情報の収集は十分ではなく、焦るばかりだったのを覚えています。そんな中幸いだったのは、医療系の隊員や、知り合いの医師から情報やアドバイスをもらえたことでした。悩んだときこそ、悩んでいることを人に言って回ると道って開けていくんだ～と実感しました。

**\* 最後に、東ティモールで頑張っている協力隊にメッセージをお願いします。**

私自身30歳を過ぎてからの進路変更で不安は尽きませんが、「人生は80年、定年まであと30年」と考え、自分の満足する道を選び、今に至ります。辛抱強さや異文化理解など協力隊で培った経験をもとに、踊れるユニークな看護師を目指しています。

山あり谷ありの活動真っ只中のみなさん、紆余曲折ありますが、思い悩んで出した結論は、きっとどれも正解です。どうぞ納得のいく2年間にしてください。そして、5年後10年後の自分を想像しながら毎日を過ごしてください。

いつか一緒に働く日が来たりして！



**日本の復興支援ポスター**

みんなで作った貼り絵のポスター。

ハモリス フォウン ノ コンテンティ

『Hamoris foun no kontenti!』

（希望を持って復興を！）。

## 常夏の国、東ティモールでの3年間

やまうち よういち

山内 洋一 さん

元 JICA 専門家（2010年8月～2013年8月）  
農林水産省九州農政局農村振興課

2013年8月までの3年間、国際協力機構（JICA）の専門家として、東ティモールの農業水産省に勤務した山内と申します。今、熊本からお便りをしております。



副大臣に離任挨拶（農業水産省）



訪問した農家の前にて（オエクシ県）

まずは、仕事の話。赴任三年目、念願叶って飛び地オエクシ（ティモール島西部にあるインドネシア領に囲まれた県）への出張。しかし、何事もすんなりとは進まないのが東ティモール流。

オエクシへの出発当日。東ティモール人（運転手）の気質か、個人的なものなのか、出発時刻になっても車が現れない…。運転手に電話してみると、インドネシア通過の査証が未取得とのこと。なぜ今？それもこちらから確認して？？と、同行の当時大使館にいた K.S 女史の怒りが爆発。出発は翌日に順延。

気を取り直して出発した翌日。飛び地のオエクシへ陸路で行くためにはインドネシア領をまたぐため計4回の出入国審査。時間も労力もかかる大仕事だった。それにしても、道路が舗装されているというのは何と心地が良いことか。道路が整備されたインドネシア領から砂利道のオエクシに入り、あらためて道路舗装の大切さを実感した。

現地では、主に貧困農民への営農支援をしている NGO の活動現場や草の根無償資金協力で整備・補修した灌漑用水路等を調査した。この NGO による活動は、国の支援が届かない貧しい農家への直接技術指導で、少しずつ成果をあげている。調査で訪れた農家で「コメが不足すると困るでしょう。だから NGO の助言をしっかりと実践していく必要があるのですよ。」という話をしたところ、「コメが上手くできなくても、『いも』や『トウモロコシ』を食べれば大丈夫」との回答。生きていける程度に収穫があれば不満はないということであり、これでは技術移転が進まないのではないかと危惧した反面、こういう考え方もあるのだと納得。

次に、休日の過ごし方。これは仕事にも影響するので積極的に取り組んだ。



ソフトボール参加者の面々と

第2に国内旅行。数か月に1度は、日本人が集まって、山や海、温泉へと出かけた。大使館、国際機関、JICA・協力隊、NGO等の人たちとの夜の意見交換は有意義であった。



マロボ温泉

最後に一言。みなさんも感じている通り、この国の成長のカギは教育。ティモール海の天然資源はいずれ枯渇するのである。教育に最大限の投資（ひと、もの、かね）を行いつつ社会経済の発展の基盤であるインフラを早急に整備することが必要。今後、農業を基礎に国民生活が豊かになることを希望したい。この国の十年後が楽しみである。

第1は健康管理。毎週日曜日午前中、老若男女が集まるソフトボールに参加することから始まり、そのつながりで土曜日午前中にはテニスや魚釣り（これが最高でした！）をすることになった。赤道が近いため日中はすごく暑く、日差しが強いので友人たちとレストランへ行って昼食を取りながらビールを飲むことになる。このためにも午前中の運動は欠かせなかった。



TLFC\*の釣果の披露（Sakura Hotel）

\*TLFC: Timor-Leste Fishing Club

第3に当地での生活を楽しむための活動。有志による発酵食品普及委員会なるものを結成し、納豆作りや焼酎造りを実践した。手造り焼酎は大統領へ献上するイベントにまで発展した。



大統領へ手作り焼酎献上

# 東ティモール人ってどんな人？

日本人に聞いてみた



鈴木 桃子さん

<Before>

派遣国：ルワンダ共和国

職種：理数科教師

当時の活動内容：理系中高一貫校で、理数科教科の指導と視覚教材・実験を使った授業を現地教員と協力して推進

## Episode 1

東ティモール人の  
〇〇がいい！

ルワンダでは私の顔を見るなり、「ちんちよんちゃん」や「シナ！」と中国人をからかうようなニュアンスで声をかけられることも多く、不満に感じていましたが、東ティモールでは「コレガ（友達）」と声をかけてくれる人が多く赴任当初は驚くと同時に嬉しかったです。



鈴木さんの支援先にて  
バナナソフトキャンディを作っている  
女性グループの方々

## Episode 2

ここだけの話…

東ティモール人の〇〇が理解できない！

東ティモールに暮らす多くの人のごみに対する考え方や、ごみが街や水路に散乱する状況は、いつ見ても改善したいと思うことです。ごみを決められた場所に捨てることで心身の健康、美しい自然環境の維持、観光産業の発達など、メリットが多くあると思います。ちなみにルワンダは、入国の際に空港で、お土産屋さんでもらうビニールの買い物袋などを全て取り上げられます。国としてビニール袋、プラスチック包材を禁止しているからです。街も家の前も毎日きれいに掃除されており、ごみはあまり落ちていません。美しく住みよい街にすることは、東ティモールにとって、とても大事なことだと思います。



今回は、以前他の国で活動されていた協力隊OGで、現在は東ティモールで仕事をされている鈴木桃子さんに、他の開発途上国とは異なる東ティモールでのちょっとしたエピソードを教えてくださいました。(TP)

## 青年海外協力隊OG（平成21年度3次隊）

<Now>

現所属：特定非営利活動法人パルシック

東ティモール在住歴：8か月

業務内容：農村女性による経済活動支援事業で、女性グループの生産する特産品の品質改善や市場開拓の支援



### Episode 3

#### 協力隊の経験から行動・活動して うまくいった出来事

笑顔で挨拶、おしゃべり、特に現地語を話す効果は大きいこと。最初は「ケツ、外国人」と思われていても、ちょっと世間話をするうちに打ち解けて仲良くなり、親切にしてもらうことが多いです。特に私が恩恵を受けているのは毎日通っている市場です。おしゃべりをするからか、結構まけてくれたり、東ティモールでの調理法など親切に教えてくれ助かっています。



### Episode 4

#### 協力隊経験を活かそうとして行動したら うまくいかなかった出来事

ボディランゲージに注意。ルワンダでは知らない人でも知り合いでも、目が合ったときにあいさつ代わりにまゆ毛を大きく上げうなずく、という意味疎通がありました。私もそれに習い同じように挨拶をしていました。東ティモールでよく道ですれ違う知り合いからウインクをされることが多く、返事代わりにウインクをし返していたら痛い目にあいました。ここでは異性に対するウインクは「キス」を意味しているそうです。みなさんもお気を付けください。



鈴木さんの支援先にて  
キャッサバチップスを作る方々



# みんなであそぼう！東ティモールすごろく



スタート!!  
アタウロ島

アタウロ島とは首都ティリ県にある島だよ  
市民の利用する安い船は週1便だから行って泊まりたいなら基本的に1週間軟禁だよ(笑)



トゥアサブ  
飲みすぎて酔酩  
1回休み

トゥアサブとは東ティモールで飲まれているヤシのお酒のことだよ  
口当たりがよくておいしいよ  
水のペットボトルに入れて売られているよ



ゲロバックの  
兄ちゃんと野菜の  
値段割引交渉成立  
1マス進む

ゲロバックってすごい名前だけど、野菜などを売ってる台車の事だよ  
夕方だと値引き成功率が高いよ



大雨でずぶぬれ  
2回休み

東ティモールの季節は雨季と乾季だけだよ  
雨は1回降ったらかなりの土砂降りだよ



クリストレイまで  
登って疲労困憊  
1回休み

クリストレイは世界で2番目に大きいキリスト像だよ  
山の上に立ってるからそこまで登るとメッチャ疲れるぞ



ジャコ島で  
きれいな海に癒される  
2マス進む

ジャコ島は東ティモールの東側にある離島だよ  
泳いで渡っちゃいけないって言われている神聖な島だぞ

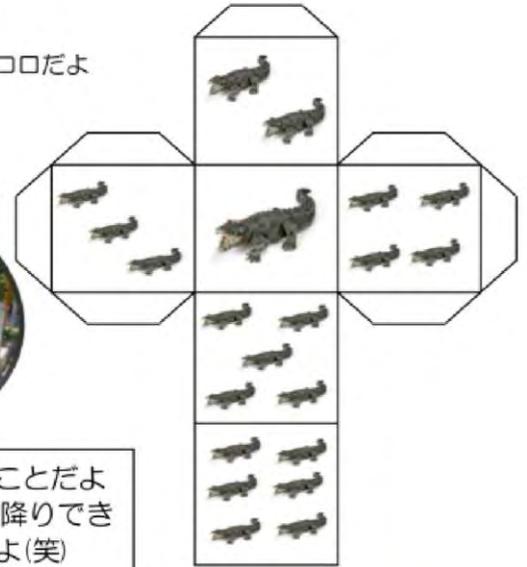


犬食べて  
経験値上がる  
1マス進む



ヘモに  
乗り間違えた！  
2マス戻る

サイコロだよ



東ティモールには犬を  
食べる習慣があるよ  
肉は甘くておいしいら  
しいよ

ヘモとは乗り合いのミニバスのことだよ  
ルート内は好きなところで乗り降りでき  
るけどたまに途中で降ろされるよ(笑)



ペボヌックでサテ食べて  
元気になる  
1マス進む

ペボヌックは地名だよ  
夜になるとサテという  
串焼きを売る屋台が  
たくさん立ち並ぶよ



コマに  
つかってね



上の写真はアタウロ島で作ら  
れている人形だよ  
見た目ちょっと怖いけど慣れ  
るとかわいく見えてくるぞ



闘鶏で大損  
2マス戻る



ワニに食べられる  
スタートに戻る

ワニは神聖な生き物  
でもたまに食べられちゃ  
う人がいるよ



ゴール!!  
ティモールフラザ

ティモールプラザは現在国内  
唯一のショッピングセンターだよ  
Free Wi-Fi だから若者が沢山  
たむろってるぞ

この国は闘鶏が盛んだよ  
道を歩いていると鶏を大  
事そうに抱えたおじさん  
をよくみかけるぞ

## 編集後記

赤星亜朱香

赴任直後にいただいた創刊号から早一年。今回は作り手として関わらせていただきました。ご協力くださった多くの方々に、この場を借りて心からの感謝を申し上げます。手にした方に可愛がっていただける機関誌となっていることを願って。

原澤研二

創刊号、第2号と連続で機関誌作りに関わることが出来ました。人数が増えた分、苦労も増しました。でも、完成の喜びも増しました！

創刊号から続く編集部の想いが、今後もさらに続いていきますように！

河西啓至

前回よりも多くの隊員で発行した機関誌2号は、それぞれの個性が出て、素晴らしい出来上がりだと思います。編集委員の皆様、本当にお疲れ様でした。

塩田哲平

企画開始から半年、遂に発行されました。隊員の活動に加え、東ティモールを様々なテーマで紹介しています。この機関誌を読んで何か新しい発見があったら嬉しいです。



丸山健二

手にした機関誌創刊号の中に『お願いします』という紙があったということで任命された機関誌編集委員。しかし編集活動を通して、ティモールのことをより知ることができました。第3号の作成よろしくをお願いします！

平山泰弘

Kmanek Saborでの編集会議で話聞かずにミロばかり飲んでごめんなさい。そして、僕の日本語を優しく直してくれた他の編集部員に感謝。来年は誰かよろしくちゃん♪

伊藤真由美

第1回編集会議から約6か月。色んな事に改めて気づかされた、修業の様な日々でした(笑) もうすぐ終わる今、開放感でいっぱいです！ホント長かったー！皆様お疲れ様でした！

## 今年のHADOMIとDAME☆記念樹白檀追跡レポート☆

2013年に創刊された機関誌HADOMI no DAMEも第2号を発刊するに至りました。創刊記念としてJICA事務所に白檀の木を2本植樹し、HADOMIとDAMEと命名しました。そんな2本の今年の様子をお伝えします。

実は、植樹してからずっと葉っぱがしおれて元気のなかったHADOMIちゃんとDAMEちゃん。「新しい土地に適応するために1~2年はこんな感じだ」とのことなので温かく見守っていましたが、なんと昨年末からボロボロと葉っぱが枯れていくではありませんか！急いで植木屋ビクトールさんに連絡すると「こいつは伝染病だね。HADOMIは瀕死だ。」と！？どうやらJICA事務所にあるほとんどの木がこの病気にかかっている、まだ子どものHADOMIとDAMEは特にダメージが大きかった模様...

早速、農業水産省にお勤めの樹木専門のお医者さんに連絡して薬を散布してもらいました。しかし、HADOMIちゃんはかなり重症だったため、涙をのんで新しい苗木に植え替えることに。(写真右)高価な白檀の苗木を無料で交換してくれたビクトールさんに感謝です。編集部員集合写真(上)は新生HADOMIちゃんと共に撮りました！

山有り谷有りですが、今後もこの2本の白檀の健やかな成長を願うばかりです。(次号へつづく...)

※白檀は昔ティモールに多く野生していましたが、香木として高価で取引されるため他国の侵略後に乱伐されました。



機関誌HADOMI no DAME編集部では皆様のご意見・ご感想・ご要望を受け付けています。

是非お気軽にご連絡ください！ MAIL : hadomi.no.dame@gmail.com

# フォトギャラリー ～東ティモール百景～



写真提供者の皆さん（敬称略）

- ・ 菊池 陽（NGO 地球のステージ）
- ・ 大西 博（JICA専門家）

- ・ 宮田 悠史（NGO PARCIC）
- ・ 丹羽 千尋（CDIC）

&東ティモール協力隊員一同

# HADOMI no DAME - LOVE and PEACE -

JICA東予イモール青年海外協力隊機関誌 No.2 / 2014年8月1日発行  
編集・発行/東予イモール青年海外協力隊 HADOMI no DAME編集部 MAIL: [hadomi.no.dame@gmail.com](mailto:hadomi.no.dame@gmail.com)

